



エネルギー
分野

小型バイオマス発電システムの商業化に向けた開発計画

低コストで導入・発電可能な小型バイオマス発電システムの開発により、再生可能エネルギーを地産地消する、地域循環型社会の構築を目指す

現状背景

- 我が国で発生する食品廃棄物のうち、約1,500万トンが焼却などのコストを要して処理されており、**食品残渣（食品関連事業所から出る食品由来のごみ）の有効利用が望まれている**
- 食品残渣を原料とするバイオマス発電は、原料の調達量の多い大都市を中心に大規模なプラントが稼働している
- 一方、小型プラントはコストが割高のため、**食品残渣の調達量が見込めない地方ではバイオマス発電が行われにくい**

開発目標

- 食品廃棄物の有効利用促進に向けた、**小型バイオマス発電システムのイニシャル・ランニングコスト低減、バイオマスガスの発酵効率向上**

先進性

- コストを抑えた小型プラントの開発により、**食品残渣の調達量が比較的少ない地域でもバイオマス発電を導入し、地域から排出された廃棄物をその地域で活用することが可能**

事業化目標

- 2022年までに浜通りに小型バイオマス発電プラントを5~6基建設する

事業者概要

《事業者名》共栄株式会社 《事業内容》総合資材販売商社として、建設資材、産業向け資材、理化学機器などの販売を行う。平成23年に新事業室を設立後、再生可能エネルギー事業に着手し、太陽光発電事業・バイオマス発電事業・小水力発電事業・風力発電事業・地中熱利用の提案、施工、管理を手掛ける《創業》1978年4月 《住所》福島県いわき市小島町2-3-6 《HP》<http://www.kyoei-kk.com> 《問合せ先》0246-27-3300



田人プラント内部全景



原料となる食品残渣のイメージ